

2023 年度第 2 回 京大本番レベル模試_世界史採点基準

※ 以下の加点ポイントは目安です（加点ポイントは<>でくり、得点として+1 を付けている）。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう。

I 11 世紀のイスラーム世界 （配点 20 点）

※15 行目に（281 字以上）入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。（III も同）

<1 中央アジアから南アジア方面>

- ① 中央アジアがトルキスタンと呼ばれるようになっていたこと…1 点
- ② 西トルキスタン(or 中央アジア)にカラハン朝が存在していたこと…1 点
- ③ アフガニスタンにガズナ朝が存在していたこと…1 点
- ④ ガズナ朝が北インド遠征を行ったこと…1 点
- ⑤ ④が北インドのイスラーム化の契機となったこと…1 点

<2 中央アジアから西アジア方面>

- ① マムルークが(トルコ系 or 白人の)軍人(戦闘)奴隷であること…1 点
- ② セルジューク朝が中央アジアからあらわれたこと…1 点
- ③ セルジューク朝がイラン(or 西アジア)で建国したこと…1 点
- ④ セルジューク朝がイランを制圧したこと…1 点
- ⑤ セルジューク朝がバグダードに入城したこと…1 点
- ⑥ ブワイフ朝を滅ぼしたこと…1 点
- ⑦ ブワイフ朝がシーア派であること…1 点
- ⑧ アッバース朝のカリフがバグダードにいたこと…1 点
- ⑨ ②～⑥の当時の君主がトゥグリル=ベクであること(いずれか一つで可)…1 点
- ⑩ トウグリル=ベクがスンナ派を奉じていたこと…1 点
- ⑪ トウグリル=ベクがカリフからスルタンの称号をうけたこと…1 点
- ⑫ セルジューク朝が西アジアを(ほぼ)制圧したこと…1 点
- ⑬ ⑪がスルタン制の成立であること…1 点
- ⑭ スルタンが政治権力者であること…1 点
- ⑮ マムルーク勢力の増大がカリフ権力の低下を招いた…1 点

<3 アナトリア・地中海東岸・その他の地域>

- ① セルジューク朝がアナトリアに進出したこと…1 点
※「マンジケルトの戦いに勝利した」なども可
- ② アナトリアがトルコ化したこと…1 点
- ③ シリア(・パレスチナ)に侵入したこと…1 点

- ④ セルジューク朝がビザンツ帝国(東ローマ帝国)を圧迫したこと…1点
- ⑤ ビザンツ(東ローマ)帝国 or 皇帝が西欧(ローマ教皇)に救援を要請したこと…1点
- ⑥ 11世紀末(1096年)に十字軍が派遣されてきたこと…1点
- ⑦ ④・⑤の当時セルジューク朝が分裂していたこと…1点
※セルジューク朝が十字軍に対応できなかったこと
- ⑧ 十字軍がイェルサレム王国(or 十字軍国家)を建てたこと…1点
- ⑨ 11世紀末, 中央アジアではホラズム=シャー朝が成立していたこと…1点

<4 論理構成点> (解答欄の右上欄外に, 1 を付ける。論理構成点を加点できない場合は数字なし)

- ① セルジューク朝の移動→十字軍の流れが書けていること…1点

Ⅱ A 東南アジア史 B ヨーロッパ諸国のインド植民地化 (配点 30点)

各1点

※空欄の後の語句を入れてしまった場合は許容する (※○を選択し, 余分な語句に下線を引き×を付ける)

A

- a クメール人× 許容
- b マジャパイト 可 マジャパヒト王国× 許容
- (2) 日南 可
- (9) 「 」なしも可
- (10) アショカ王, アショーカ, アショカ 可
- (11) 『 』なしも可
- (12) ドバーラバティーも可 ドヴァーラヴァティー王国 可

B

- d アウラングゼブ 可
- e プラッシーの戦い 可
- (14) 『 』なしも可
- (15) 「 」なしも可, エンリケ航海王子も可
- (17) サファビー朝も可
- (19) ガレオンも可
- (20) バタビアも可
- (23) セポイも可
- (24) カルナータカ戦争も可
- (25) ザミンダーリー, ザミンダーリー制度も可

Ⅳ キリスト教会の分裂 (配点 20点)

※15行目に(281字以上)入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。

<1 ニケーア公会議>

- ① ニケーア公会議が開かれたこと…1点
 - ② 会議がキリスト教公認後に開かれたこと…1点
 - ③ アタナシウス派が正統教義となったこと…1点
 - ④ アリウス派が異端となったこと…1点
 - ⑤ アリウス派はイエスの人性を強調したこと…1点
 - ⑥ アタナシウス派はのちに三位一体説として確立されること…1点
 - ⑦ アリウス派はローマ帝国から追放されたこと…1点
- ※「アリウス派がゲルマン人の間にひろまった」なども可

<2 エフェソス公会議とカルケドン公会議>

- ① エフェソス公会議が開かれたこと…1点
- ② エフェソス公会議やカルケドン公会議はキリスト教の国教化後に開かれたこと…1点
※「ローマ帝国の分裂後」でも可
- ③ エフェソス公会議でネストリウス派が異端となったこと…1点
- ④ ネストリウス派はイエスの人性と神性の分離を主張したこと…1点
- ⑤ カルケドン公会議が開かれたこと…1点
- ⑥ カルケドン公会議で単性論(単性説)が異端となったこと…1点
- ⑦ 単性論はイエスの神性のみを認めたこと…1点

★クレルモン教会会議(及び関連した内容)にふれても得点を与えない

<3 コンスタンツ公会議>

- ① コンスタンツ公会議が開かれたこと…1点
- ② 14世紀後半に教会大分裂(大シスマ)の状況が生まれていたこと…1点
- ③ 会議の目的がカトリック世界の統一の回復にあったこと…1点
- ④ ローマ教皇を正統として教会大分裂の收拾が図られたこと…1点
※ローマ教皇が正統となったことにふれていなければ得点を与えない
- ⑤ ウィクリフとフスが異端となったこと…1点
※「フスが火刑になった」なども可
ウィクリフかフスのいずれかにふれていればよい。ただしウィクリフが火刑になったは不可。

<4 トリエント公会議>

- ① トリエント公会議が開かれたこと…1点
- ② 16世紀にルター派など新教が台頭したこと…1点
※「宗教改革に直面した」なども可
- ③ 教皇の至上権が確認されたこと…1点

※「教皇の権威を認めた」なども可

④ カトリックの教義が（再）確認されたこと…1点

⑤ カトリックの一体性が保持されたこと…1点

※「カトリックの統一を図った」なども可

<4 論理構成点>（解答欄の右上欄外に、1を付ける。論理構成点を加点数できない場合は数字なし）

① ニケーア公会議→エフェソス公会議→カルケドン公会議→コンスタンツ公会議→トリエント公会議の流れが明記されていること…1点

Ⅳ A 中世ヨーロッパ都市と遠隔地商業 B 大西洋三角貿易とイギリス産業革命（配点 30点）

※A(8) 2点, B(17) 2点, その他 各1点

A

a シャンパーニュ地方× 許容

b 皇帝党, 皇帝派 可

(3) フッガー, フッガー財閥 許容

(5) カトリーヌ, カテリーナ (=デ=メディチ), カトリーヌ・ド・メディシス 可

(6) アンヴェール 可

(7) マルグレーテ1世, マーガレット 可

(8) 2点満点

① シモン=ド=モンフォールが反乱を起こしたこと…1点

② イギリス議会の起源となる議会を開いたこと…1点

※議会を開いたという内容があれば得点を与える

(11) ボッカッチョ ジョヴァンニ=ボッカチオ 可

(12) ジョン=ウィクリフ, ワイクリフ 可

B

c コーヒー・ハウス 可

(13) トゥサン=ルベルチュール, トゥサン・ルヴェルチュール トゥーサン=ルーヴェルチュール など 可

(14) アシエント 不可

(15) ベニン 許容

(16) バージニア植民地 可 ヴァージニア 許容

(17) 2点満点

① イギリスに入港できる船をイギリス船か貿易当事国の船に限定したこと…1点

※貿易当事国は貿易相手国でも可

イギリス船に限定のみでは得点を与えない

② オランダの（中継）貿易に打撃を与えることが目的であったこと…1点

※「オランダに打撃を与える」なども可

(18) ヴィクトリア, ビクトリア女王 可

(19) イーライ=ホイットニー 可

(21) エドモンド=カートライト 可

- (22) (ア) じゃがいも飢饉 可
(イ) ヴィツテ, セルゲイ=ウィツテ 可
- (23) 「パクス・ブリタニカ」, 「イギリスの平和」 可
- (24) ピープルズチャーター 可

以上